



図書館サポーターズだより

# 明日に吹く風

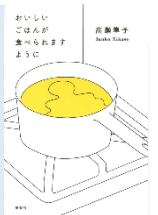


風が爽やかな季節となりましたが、もうすぐ梅雨の季節が始まります。お天気が心配な日は、雨宿りをはかて図書館でほっと一息つきませんか？今月も、図書館サポーターズおススメの本を紹介します！

## ～図書館サポーター推薦図書～

### 『おいしいごはんが食べられますように』

高瀬 隼子 著 (913.6 || Ta53)



「おいしいごはんが食べられますように」…皆さんはこの題名を見てどのようなお話だと思いますか？私はきっとおいしいごはんがたくさん出てくる幸せな作品なのだろうなと思いこの本を手に取りました。読み進めていくと、確かにごはんやお菓子がたくさん出てきます。しかし、どれもあまりおいしそうな描かれ方をされていません。それもそのはず、この本の主人公二谷は食事が嫌いで、その中でもおいしいごはんを食べることが嫌いです。仕事、恋愛、人間関係、そして食事。みんなそれぞれ自分の考え方があって、誰が悪いわけでもないけれど少しずつ積もっていくもやもや、イライラ。社会に出たらきっと経験する理不尽をリアルに描いています。読み終えた後に題名の意味をもう一度考えたい作品です。

(A・M)

### 『命の授業：』

#### 30万人が泣いた奇跡の実話』

腰塚 勇人 著 (289.1 || Ko87)

命の授業



この本の著者である腰塚さんは中学校の教師でした。しかし、ある出来事をきっかけに「一生、寝たきり」と宣告されました。手術から1週間たっても首から下の「手足」は動かず、しゃべることもできない状態で自殺未遂まで図ろうとしていました。しかし、家族や生徒からの応援を受け「生きたい」と願い、4か月後、奇跡が起こり再び教師として学校に帰ることができました。当たり前に行えることができなくなる辛さを実感したからこそ、「周りの人に対する感謝の気持ちを忘れてはいけない」「笑顔でいることは大切」など、生きていく中で大切なことは何かというメッセージが強く込められた一冊です。

30万人が泣いた、復活を遂げる奇跡の実話を読んでみませんか？

(M・H)

### 『「見た目」の教科書：』

#### 学校でも会社でも教えてくれない』

乳原 佳代 著 (336.49 || U55)



「人は見た目ではなく中身で勝負！」

という言葉は一度は聞いたことがあると思います。子どもの頃から“見た目で人を判断してはいけない”と日本では教わりますが、知らず知らずのうちに見た目で判断されている場面があります。例えば、会社のプレゼンや商談、就職活動での面接を始める前にみなさんの第一印象は評価されているのです。つまり、人間関係を決める第一印象は一瞬が勝負だということです。声や話し方だけではなく、服装や色、立ち居振る舞いなどの重要さやあらゆる場面での活用術を教えてくれる1冊となっています。新たな大学生活が始まったみなさん、就職活動をしているみなさん！新年度が始まった今だからこそ印象戦略術を身に付けてみませんか？

(A・T)

